



Global Link Online 事前トレーニングプログラム

**Global Link Academy**

2014年から始まったGlobal Linkですが、今年度はイベント初の  
**オンライン開催**となります！

これまで日本も含め10か国の生徒、延べ1,000名以上が参加し、  
グローバルな知の交流の場として唯一無二のコンテストを提供  
してきましたが、オンラインでの開催となる今年度は  
新たな試みに**挑戦**します。

それが、事前トレーニングプログラム

**『グローバルリンク・アカデミー』**です。

生徒のみなさんの研究内容をさらにブラッシュアップさせたり、  
英語でのプレゼンテーションにおける「デリバリースキル」を  
大きく伸ばすため、**約4週間**にわたる事前トレーニング  
プログラムを組み合わせた、新たな教育プログラムとして  
”Global Link Online”を提供します。

# プログラムスケジュール



## Global Link Academy



### オプションメニュー①

#### 現役大学生 メンタープログラム

難関大学に進学をした現役の大学生が「メンター」として研究内容をサポート！  
1チーム週2時間×3週間まで個別にオンラインで相談することができます。

### オプションメニュー②

#### プライベート 英語レッスン

高いレベルの発表を目指して1チーム5時間まで、プライベートレッスンが可能です。

## 課題研究ブラッシュアップPGM



監修：岡本 尚也 氏

一般社団法人  
Glocal Academy  
代表理事

啓林館『課題研究メソッド』、  
『課題研究メソッドStart Book』著者  
1984年生まれ。  
慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、  
ケンブリッジ大学にて物理学博士号を取得。  
その後、オックスフォード大学にて日本学修士号を  
取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果がNature  
Materials 等、世界トップジャーナルに論文が掲載  
された。  
帰国後、NPO法人を創業し2016年より現職。社会  
や学術における諸課題を研究的手法を用いて解決す  
る事を目的とし、後進の育成やそれら課題に取り組  
む個人及び企業・団体を支援している。2018年米国  
国務省事業International Visitor Leadership  
Program (IVLP) メンバー。JTB顧問。

1

インストラクション・参加者の体験記・

課題研究全般について

課題研究がほぼ終了した段階でも、少しの工夫をすることで、  
まとめ方や発表の行い方を大きく改善することができます。  
初回は、”**今からでも間に合う課題研究の改善方法!**”について  
お話します。また、”**大会での心構えや、大学入試や入学後の  
学びのポイント**”についてもお話します。

2

アブストラクト（研究要旨）の書き方

自分の取り組んだ成果を文章にまとめる力は大学入試や入学後は  
もちろん、社会で活躍する場でも必須となります。  
ここでは、”**論理的で伝わりやすい文章作成のポイント**”について  
お話します。大学入試におけるライティングや文章を読む際にも  
とても効果的です。

3

発表スライド（PowerPoint）の

ブラッシュアップ

スライドを用いた発表はデザイン、論理構成、声の抑揚等多くの  
要素が必要となります。最終回では”**特に論理構成や強調すべき  
点と、その示し方**”についてお話します。  
また、”**英語での発表でのポイントや読まずに自然に話行う方法**”  
についてもお話します。

## グローバルスキルアップPGM



監修：川村 千秋 氏

プライムビジネス  
コンサルタンシー  
株式会社 代表

1996年シンガポール移住。20年以上にわたる在住期間に欧米企業、シンガポール企業に勤務した経験を持ち、2006年に独立後は日系企業を中心に、事業構築プロジェクトを多数経験。EDB（経済開発庁）、Enterprise Singapore、A\*STAR（シンガポール科学技術研究庁）をはじめとする政府機関、各国大使館、シンガポール企業に幅広いネットワークを持つ。また、20年以上にわたるシンガポール在住期間に、欧米企業、シンガポール企業に勤務した経験を持ち、独立後は日系企業を中心に事業構築プロジェクトを多数経験。日本・シンガポール両国の企業組織風土の違いや異文化の中での経営について、講演、執筆活動を通じて情報を発信している。また外国人に対するプレゼンテーションのレクチャーやコーチングも行っている。

4

## 英語プレゼンテーションにおける デリバリースキルアップ

PowerPointを使用し、“**いかに審査員や視聴者を巻き込むか、伝えるか、印象を残すか**”を具体例も含めて解説。

日本人の高校生において課題とされる“伝え方”のスキルが、研修内容と同等に試されるコンテストにおいて、参加高校生の英語力も念頭に置きつつ、“**原稿読み上げの一方通行にならないデリバリースキルを、アップさせる**”ことを目的としています。

5

## 海外で活躍する日本人留学生との対談

シンガポール国立大学、またはそれに準ずる現役の大学・大学院に在籍している日本人の留学生をお招きして、ディスカッションを行います。海外で学ぶことを決めた理由や背景、現在シンガポールで学んだり研究していること、当時のリアルな高校生活を振り返ってもらいながら、Global Linkに参加する生徒のみなさんに、“**コンテストの発表がゴールではなく、さらにその先の将来につながるきっかけの時間**”にしてもらいます。

## 現役大学生 メンター プログラム

参加者お一人あたり  
39,800円 (税込)

高校時代から課題研究に取り組み、コンテストや大会に参加を経験、さらにAO・推薦入試を利用して難関大学に進学をした現役の先輩大学生が、みなさんのチーム専属の「メンター」としてサポートをしてくれる特別プログラムです。1チームに対して週2時間×3週間（計6時間）、オンラインを通して徹底した指導を受けることができます。研究や発表の相談はもちろん、進路選択や学校生活、学習方法の相談などものってもらえます。



監修：岡本 尚也 氏  
一般社団法人  
Glocal Academy  
代表理事

### 学生プロフィール (例)



#### 東京大学 (4年生)

高校生国際シンポジウムでグランプリを獲得し、東京大学教養学部にて推薦入試にて合格。高校時代の研究テーマは「災害時のトイレ整備の現状と課題」について。



#### 九州大学 (1年生)

高校生国際シンポジウムで主催者特別賞を獲得、九州大学共創学部にて推薦入試にて合格。高校時代の研究テーマは「いちき串木野市における海洋プラスチック問題に焦点を当てた環境教育の可能性」。



#### 国際教養大学 (3年生)

高校生国際シンポジウムで優秀賞を獲得し、国際教養大学に入学（ギャップイヤー入試）。高校時代の研究テーマは「日本における外国にルーツを持つ学生」について。

## プライベート 英語レッスン

参加者お一人あたり

9,400円 (税込)

海外でのコンテストの舞台で、日本の生徒にとって課題として挙げられる一つが「質疑応答」や「ディスカッション」における英語のコミュニケーションです。英語の発表練習は十分にできて、**研究内容や想定していない質問に対する質疑応答には、対策が難しい**という声も聞かれます。

そこで、このプログラムでは**チーム単位で1コマ(50分)×5コマのコンテストに特化したプライベート英語レッスン**を提供します。本番に向けた実際のプレゼンテーションの中間チェックや改善アドバイスに加えて、内容に関するQ&Aトレーニングなど実践します。さらには、オンラインプレゼンテーションにおけるカメラ位置や表情、視点、ボディランゲージなどのポイントもお伝えします。

### プログラムメニュー



- 1 Self-Introduction & Overview Delivery Skills
- 2 Tips Delivery Skills by Online
- 3 Demo Session - Body Language & Appearance
- 4 Demo Session - Engagement
- 5 Demo Session - Q&A対策



監修：Eric Altman 氏  
株式会社ジージー  
人材開発ディレクター



**Global Link**  
Online

## Global Link日本事務局

株式会社JTБ 企画開発プロデュースセンター内

[globallink@jtb.com](mailto:globallink@jtb.com)